美術Ⅰ 第8回

漫画はやっぱりおもしろい
～人物～

講師　漫画家 荒木飛呂彦

今回学ぶこと

漫画は今や日本を代表するアートだ。今回、講師を務めるのは漫画家の荒木飛呂彦さん。独自の世界観を土台に奇抜なストーリーを立ち上げ、魅力的なキャラクターを活躍させる漫画でしかできない表現を追求してきた。代表作の「ジョジョの奇妙な冒険」シリーズの連載は25年を超え、現在も絶大な人気を誇る作家だ。

ワークショップでの荒木飛呂彦さん（中央）

荒木さんによれば、漫画を描くうえで一番大切なことはキャラクター作り。今回のワークショップでは魅力的なキャラクター作りを通して漫画の面白さを探っていく。

学習前チェック

キャラクターの造形のしかたや工夫、コマ割りや描き方がどのように効果的に考えられているか、などに注目して漫画を読んでみよう。

Point1 漫画とアート

幼いころ寝る前に読んだ美術全集から、地面をピンクに塗ったり、空を黄土色に塗ったりしたゴーギャンの絵画作品に衝撃を受けた荒木さん。過去の名作の中に美の基本を見いだし、それを自分の作品に生かしていくことの大切さを語っている。

荒木さんの漫画の一見奇抜な世界観や表現にも、そのルーツがあった。漫画は過去の名作のうえに生み出されているのだ。

Point2 ファッションと漫画

漫画とファッションには大きなつながりがある。キャラクター作りは漫画制作で一番大切だが、漫画家はキャラクターを作るうえでスタイリストの役割もヘアメイク

の役割も、カメラマンの役割もすべて一人でこなす。それは独自のファッションを生み出すことに結びついている。

魅力的なキャラクターが活躍する荒木さんの漫画にファッション業界も注目している。漫画にはファッションの新たな可能性を開く力があるのだ。

Point3 漫画の名作

日本の漫画は社会や時代を反映させながら独自の発展を遂げてきた。その過程ではさまざまな名作が生まれている。日本の漫画には歴史があり、過去の名作があるから今も新たな名作が生み出されているのだ。

このように発展してきた漫画は日本人の生活の中に浸透している文化であり、社会を反映するとともに社会に影響を与える文化だ。

まとめ

- 過去の名作の中に美の基本を見いだし、それを自分の作品に生かしていくことも大切。マンガはアートの伝統の先に生まれた、新しいアート表現なのだ。
- 漫画とファッションには大きなつながりがある。相互に影響を与え合い、現代の文化を形成している。
- 漫画は日本を代表する文化だ。日本の漫画には歴史があり、過去の名作があって今も名作が生まれ続けている。